



舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和 7 (2025) 年 9 月 30 日 発行

白糸中学校区「目指す子ども像」

自ら学ぶ子・人とつながる子

心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子

学校HP



天高く 馬肥ゆる 秋 ～実り多き秋 一段とたくましく～



「60-60」。これは京都市で、この夏、猛暑日と熱帯夜の日数がともに 60 日に到達し、国内で観測史上初めて暑さの「60 日-60 日」に到達したことを表す数字です。「今年の暑さは、数十年に 1 度ぐらいの確率でしか起こらないような極端な現象だったと推定される。明らかに異常気象」との認識が気象庁異常気象分析検討会で示されました。もう日本の四季はなくなり、「二季」となってしまうのかと心配の声も聞こえてきます。しかし、自然の摂理は、そう簡単に変わることなく、先週から急激に気温が下がり、朝夕はめっきり涼しくなりました。夏の異常な暑さにより、草花はまだまだ夏気分なのか、この時期に咲くはずの「彼岸花」も開花が遅れているようですが、肌に当たる風や空気感では確実に秋の気配をもたらしています。どんな異常な気候であっても、日本の四季は、その時期が来れば、その季節に変わります。“自然”からは、いつも自分で自分をよく知り、周りが少々乱れても、自分のすべきことを変わらずにやれる強さを感じます。

さて、明日から 10 月になります。「天高く 馬肥ゆる 秋」(空は澄み渡って晴れ、馬が食欲を増し、肥えてたくましくなるほど過ごしやすい秋を表現し、心身ともに快適に暮らせる秋の気候を意味します。)新舞鶴っ子も多くの実りを自分のものにして、一段とたくましく成長する姿を期待します。その一つがまさに運動会での子どもたちの姿です。今、学校では運動会に向けて、子どもも職員も一緒に汗をかき、共に素晴らしい運動会にしようと心を合わせて取り組んでいます。ぜひ、保護者・地域の皆様には、子どもたちの個々の頑張り、低・中・高学年の集団としての頑張り、なかよし班の一員としての頑張り、そして全校が一つとなって見せる頑張り、様々な頑張りが散りばめられた運動会にどうぞご期待ください。

今月も変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

校長 亀井 敬介 教職員一同

【令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について】(6年生)

4月 17 日(木)に実施した全国学力・学習状況調査の結果概要をお知らせします。国語、算数、理科ともに全国の平均正答率を下回る結果でした。今回の調査では次のような状況が見られました。



【国 語】

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けること、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることなどに課題が見られました。図表と文章を対応させて読み取る練習を通じて、情報の関係性を理解させること、見出し、写真、説明文などの役割を整理し、どのように読者に働きかけているかなど、構成と表現の工夫に注目する活動を取り入れ、内容を構造的に捉える力を育てられるように授業改善に努めます。

【算 数】

面積の求め方を、式や言葉を用いて記述すること、分数を単位分数の幾つ分として捉えること、目的に応じて適切なグラフを選択して、その理由を言葉や数を用いて記述することなどに課題が見られました。図形を分割・構成する活動を通じて、面積の求め方を多面的に理解させ、言語活動(説明・理由づけ)と結びつけた指導をすること、「もとにする量」の概念を明確にし、分数の意味と結びつける指導を行い、図と説明を対応させる力を育てること、グラフの構造的な読み取りを丁寧に指導し、目的に応じたグラフ選択の力や理由を言語化する力を育てることなどを大切に授業改善を行います。

【理 科】

結果を基に結論を導いた理由を表現すること、実験の条件を制御した解決の方法を発想し、表現することなどに課題が見られました。実験結果を「表」「グラフ」「文章」で整理する活動を通じて、数値を根拠にした比較の力を育てること、「なぜそうなるのか?」を問う活動を大切に、因果関係を説明する力を育てること、「何を調べたいのか」「どうすればわかるのか」を児童自身が説明する活動を大切に、目的と方法の関係を言語化させることを意識して、授業改善に取り組みます。

【児童質問紙】

自分を高める力、他者とつながる力に関することに肯定的に回答している児童が多く見られました。しかし、粘り強く取り組む力には課題が見られました。一つ一つの活動を友達とともに努力したり、最後までやり切ったりする経験を積み重ね、日々成長していけるよう、これからも適切な指導を継続していきます。